

わたしの目標、みんなの目標

岐阜市立岐阜小学校 五年 山田 千瑤

私の将来の夢は、植物の品種改良をし、SDGsの達成に役立つ人になることです。

私の家には広い庭があり、幼いころから植物が身近にありました。草木を使って遊んだり育てたりする中で、植物に関わる仕事ができたら良いなと感じ始めました。また、同じ時期にテレビや街中のポスターなどでSDGsのことを知りました。そこで、私が興味のある植物の分野でSDGsに貢献できるのではないかと考えるようになったのです。

SDGs十七の目標の一番目、「貧困をなくそう」では、作物を品種改良することによって、過酷な環境下でも育つようにしたり、少しの苗からたくさんのお食糧を得られるようにすることで役立てるかもしれません。

十三番目の「気候変動に具体的な対策を」や、十五番目の「緑の豊かさを守ろう」については、植物の成長を早めたり、砂漠のような水の少ない場所にも耐えられるようにすることで少しでも緑を増やし、地球温暖化を遅らせることができるかもしれません。

このようなことは、たくさんの方が考え、もうすでに色々な研究もされていると思います。それでも、品種改良には、とても長い時間がかかることを考えると、一人でも多くの研究者がそれぞれの視点から改良していくことでより良いものができたり、少しでも早く結果が出せると思っています。そして、研究には失敗がつきものです。一人が失敗しても他の人が成功することもあります。何度も失敗をくり返して、やつと成功することもあると思います。私は今、大好きなバレーにうちこむことで、失敗しても立ち向かう心の強さや、どうしたら次はう

まくいくかを考えることの大切さを学んでいます。

また、夢を実現するために、植物を品種改良する仕事につくためにはどうしたら良いかを調べました。すると、大学の農学部に進学する必要があることが分かりました。

そこで、元々好きだった植物図鑑を何度も読み返したり、庭の草木を観察してスケッチをとり、ノートにまとめたりすることに加えて、科学の本も読んだり、算数の自宅学習を増やしたりしています。大学に進学するためには理科や算数だけではなく、国語や社会も勉強し、学校で習うこと以外の知識もできるだけ広く身につけていきたい、と考えています。

さらに、将来どんな植物が作りたいたのか、理想を思いえがくこともしています。今、一番良いと考えているものは、ブドウのように一つの種でたくさんのお実がなる植物と、サボテンのように水がなくても枯れづらく、熱に強い植物と、ヤブランのように寒さに強い植物を合わせたような食べられる植物です。これならば、どんな環境にもたえられるし、一気にたくさん収穫できることで、流通量が増え、どこでも安く手に入る食品になり、みんながおなかいっぱい食べられるようになると思います。しかし、この食品を食べたいと思って食べるかどうかは、また別の問題です。

そのような問題も乗り越え、この植物が一人でも多くの貧困に苦しむ人の助けになり、地球環境を改善していく未来を夢見て、これからやるべきことを少しずつ積み重ねていきたいと思っています。